

2023年4月18日

報道各社 御中

## 健康保険証廃止に伴う高齢者施設等への影響調査

～県内の高齢者施設 利用者のマイナカード管理できない9割以上～

岩手県保険医協会

政府は、2024年秋に現行の健康保険証を廃止し、マイナカードに一体化する法案を今国会に提出しました。4月14日より衆議院で審議入りしています。

健康保険証の廃止は、要介護高齢者などマイナカード取得・利用・管理が困難な方に重大な影響を与えます。政府は、マイナカードによる保険資格確認を基本とする方針を示しており、困難な方への対応として▽マイナカードの申請・代理交付等の支援について施設職員や支援団体等に協力要請する▽施設長が施設入所者分のマイナカードを管理し、さらに、医療機関・薬局の受診等の際にマイナカードを介助者など第三者に預ける場合等の対応を検討するとしています。

しかし、マイナカードは公的個人認証機能を有しており、マイナカードとスマホ、暗証番号があればマイナポータル（ウェブサイト）上で各種公的手続きができるなど、「実印」と同等の機能を有します。そのため、社保審医療保険部会でも「暗証番号を第三者である施設長に知られることは、通常の間感では不安が多い」、「マイナカードと暗証番号で自身のマイナポータルにアクセスされるのではないか等の不安から、本人や家族の同意が得られない」と強い懸念が出されています。このままではカード管理が困難な方の医療アクセスが制限されるだけでなく、利用者・入所者の健康保険証を管理してきた介護・高齢者福祉関係者にとって多大な負担となり、無用な混乱・トラブルを招きかねません。

当会が加盟する全国保険医団体連合会が3月24日から4月10日に全国の特別養護老人ホームや老人保健施設等を対象に健康保険証廃止に伴う高齢者施設等への緊急影響調査を実施しました。岩手県内の施設分について報道機関の皆様に発表させていただきます。

【問い合わせ先】

岩手県保険医協会

担当：畠山

Tel 019-651-7341

Fax 019-651-7374



# 2024年秋の 保険証廃止は撤回を!!

## 保険証廃止に伴う高齢者施設等への影響調査 —全国の特養・老健施設—

岩手県保険医協会

# 調査の目的

政府は、2024年秋に健康保険証を廃止し、マイナカードによる保険資格確認を基本とする方針を示している。健康保険証の廃止は、要介護高齢者などマイナカード取得・利用・管理が困難な方に重大な影響をもたらすことが強く懸念されている。

健康保険証廃止、マイナカードが基本とする政策・方針が介護現場、高齢者施設にどのような影響が生じうるのかを明らかにするために本調査を実施した。

# 調査方法

**調査期間：2023年3月24日－2023年4月10日**

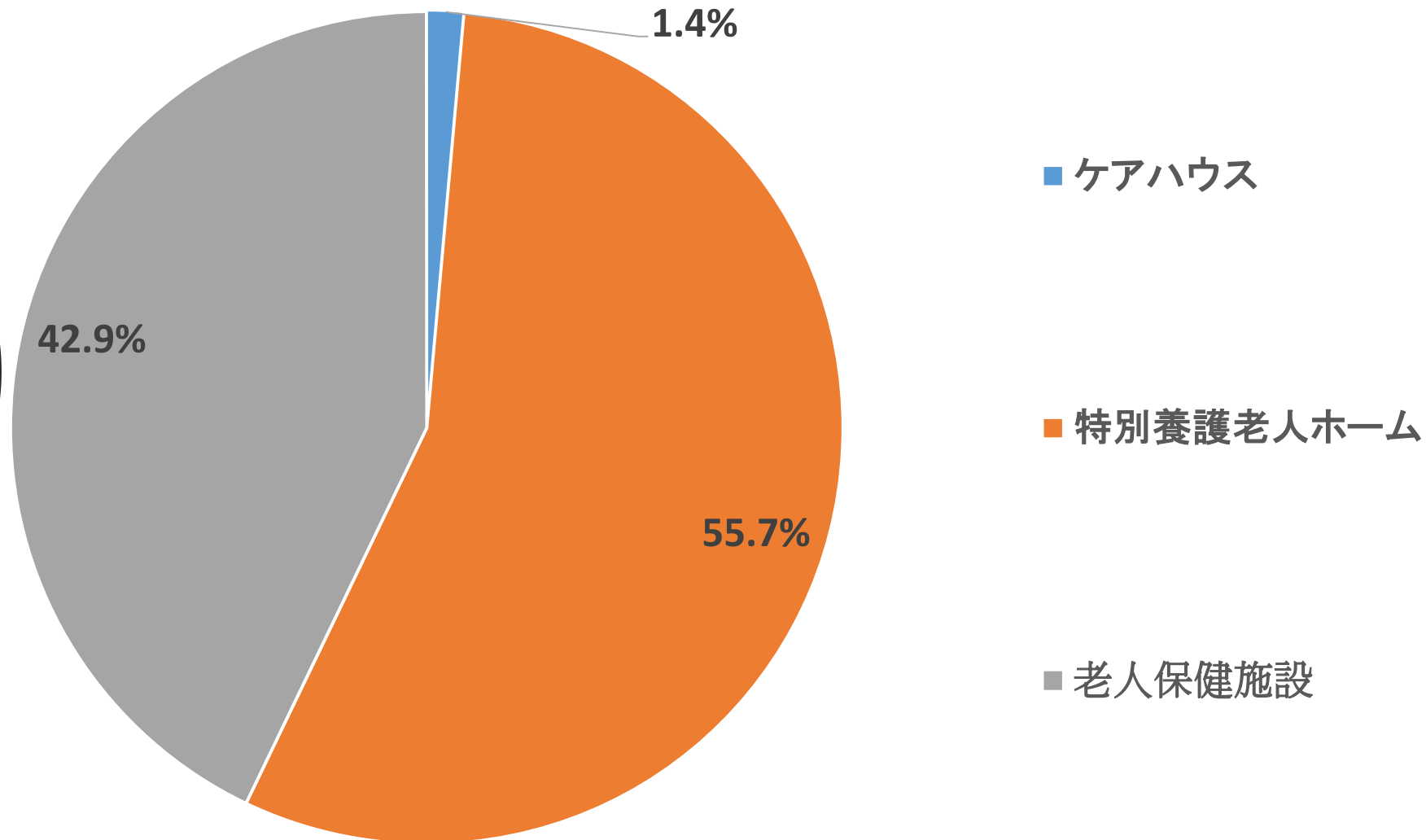
**調査対象：岩手県内の高齢者福祉施設、介護施設**

**回答件数：70施設（有効回答）**

N=70

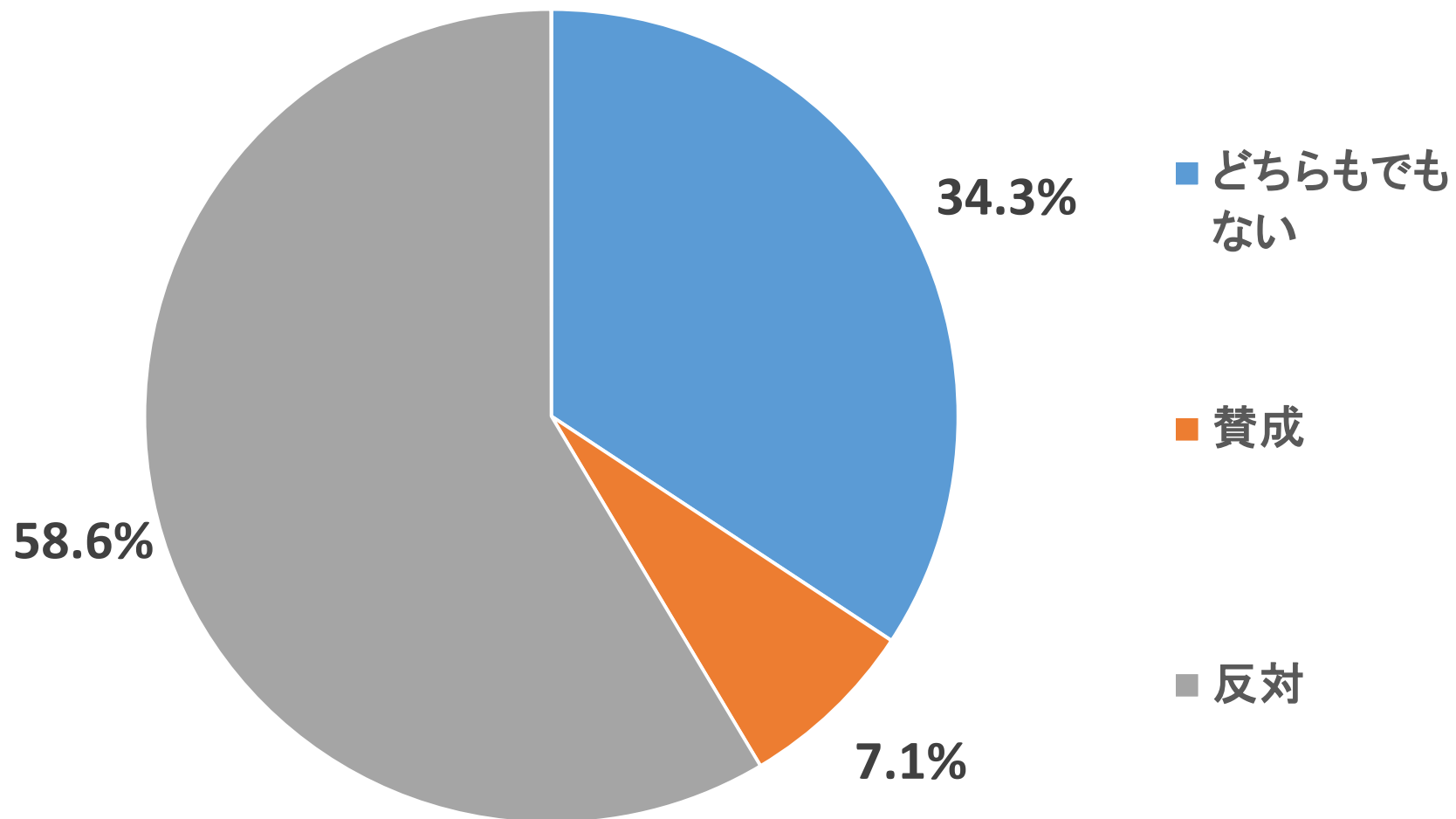
特養が55.7%、老健が42.9%、ケアハウスが1.4%

施設の種類



N=70

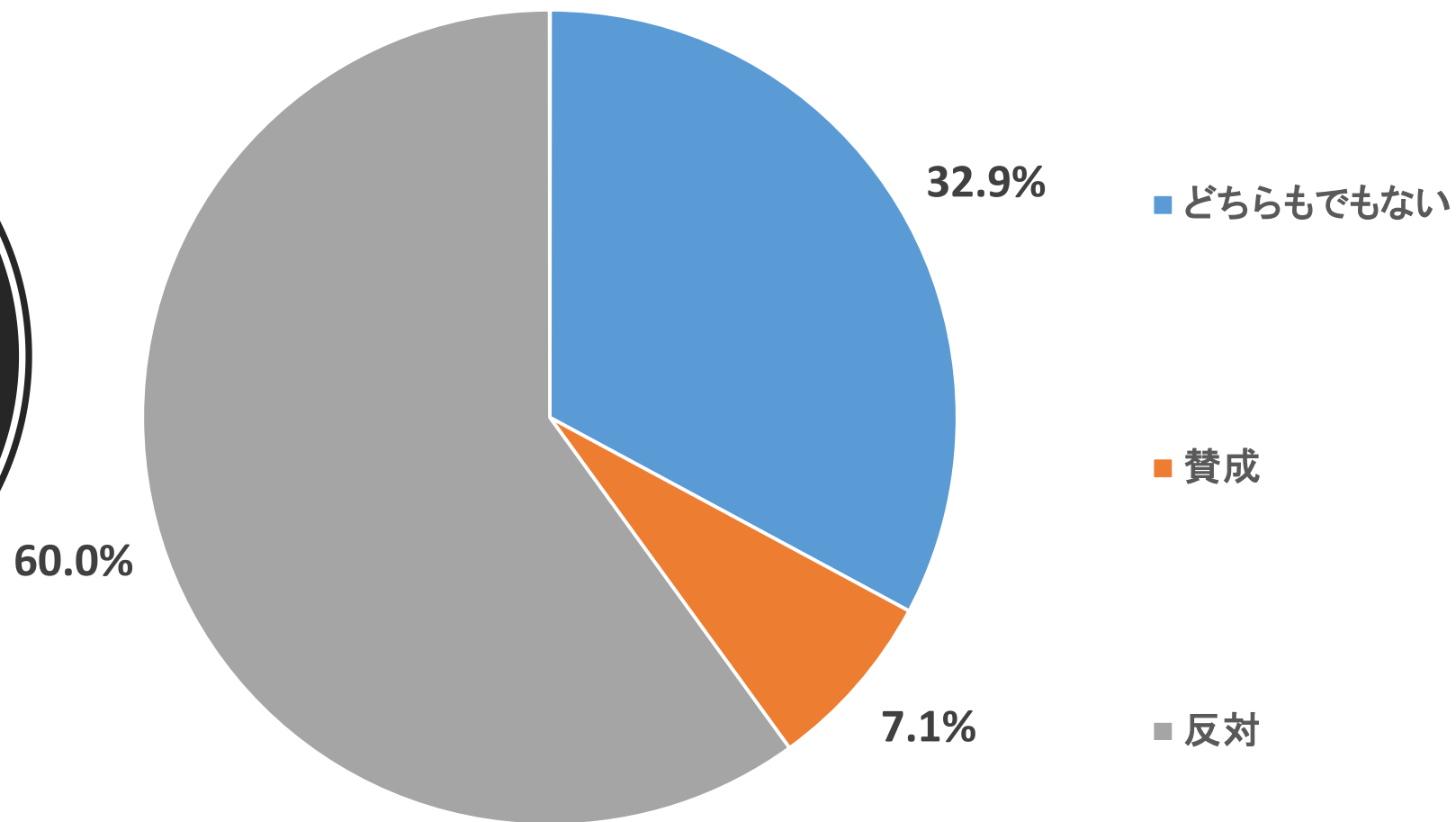
「賛成」が7.1%、「反対」が58.6%、「どちらでもない」が34.3%



N=70

「賛成」が7.1%、「反対」が60.0%、「どちらもでもない」が32.9%

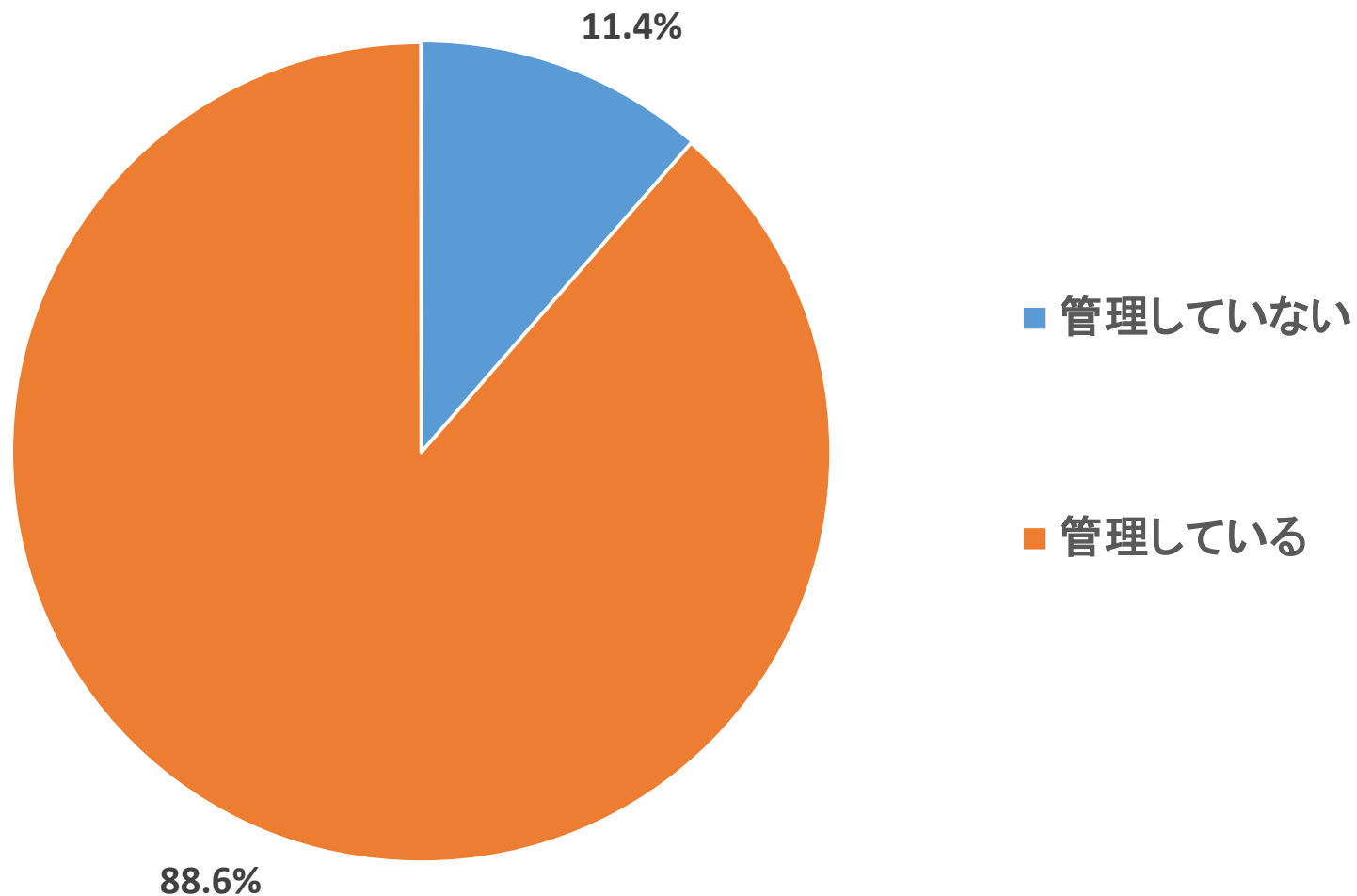
介護保険被保  
険者証の廃止  
について



N=70

「管理している」が88.6%「管理していない」が11.4%

利用者・入所者の健康保険証の管理について

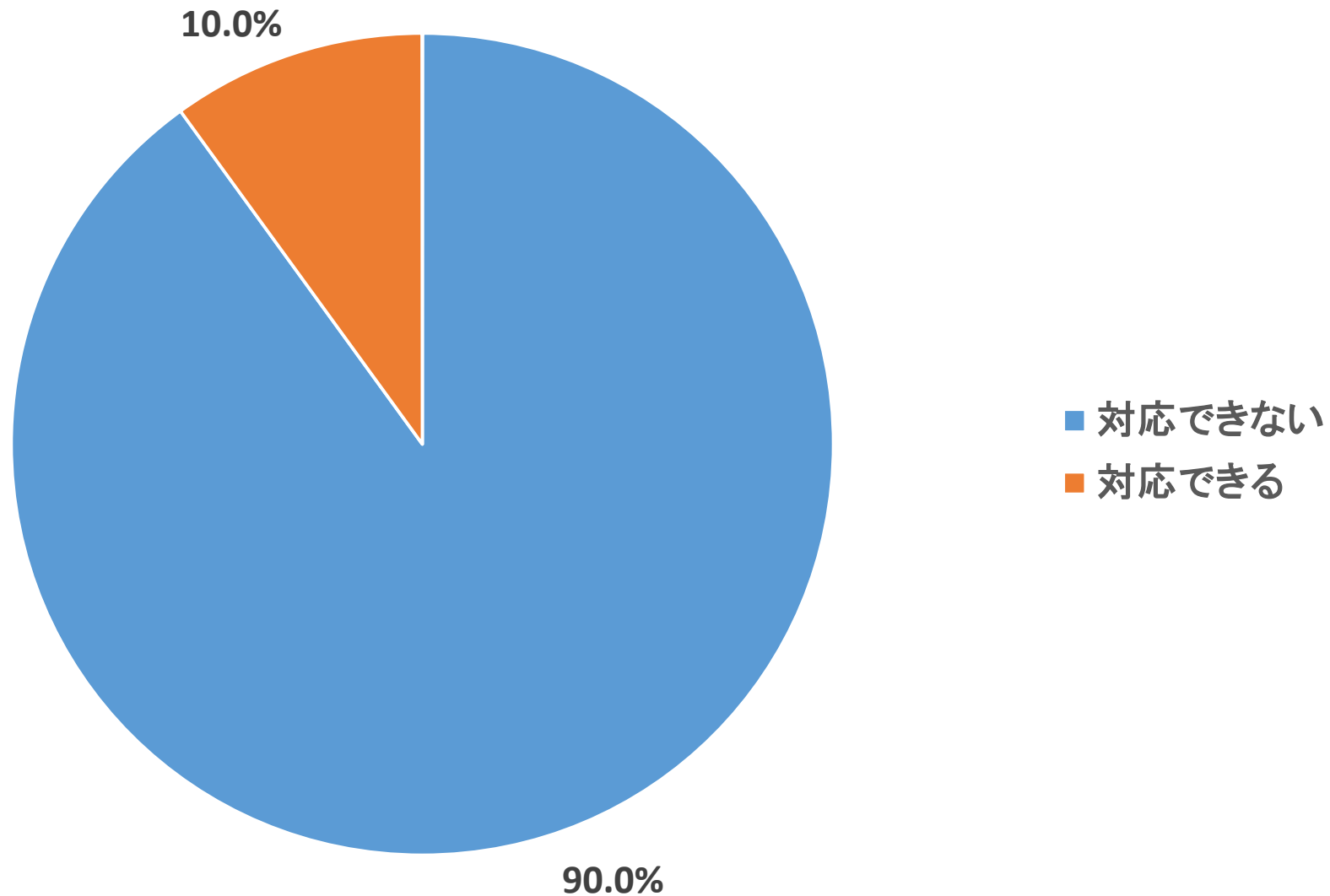




N=70

「対応できる」10.0%、「対応できない」90.0%

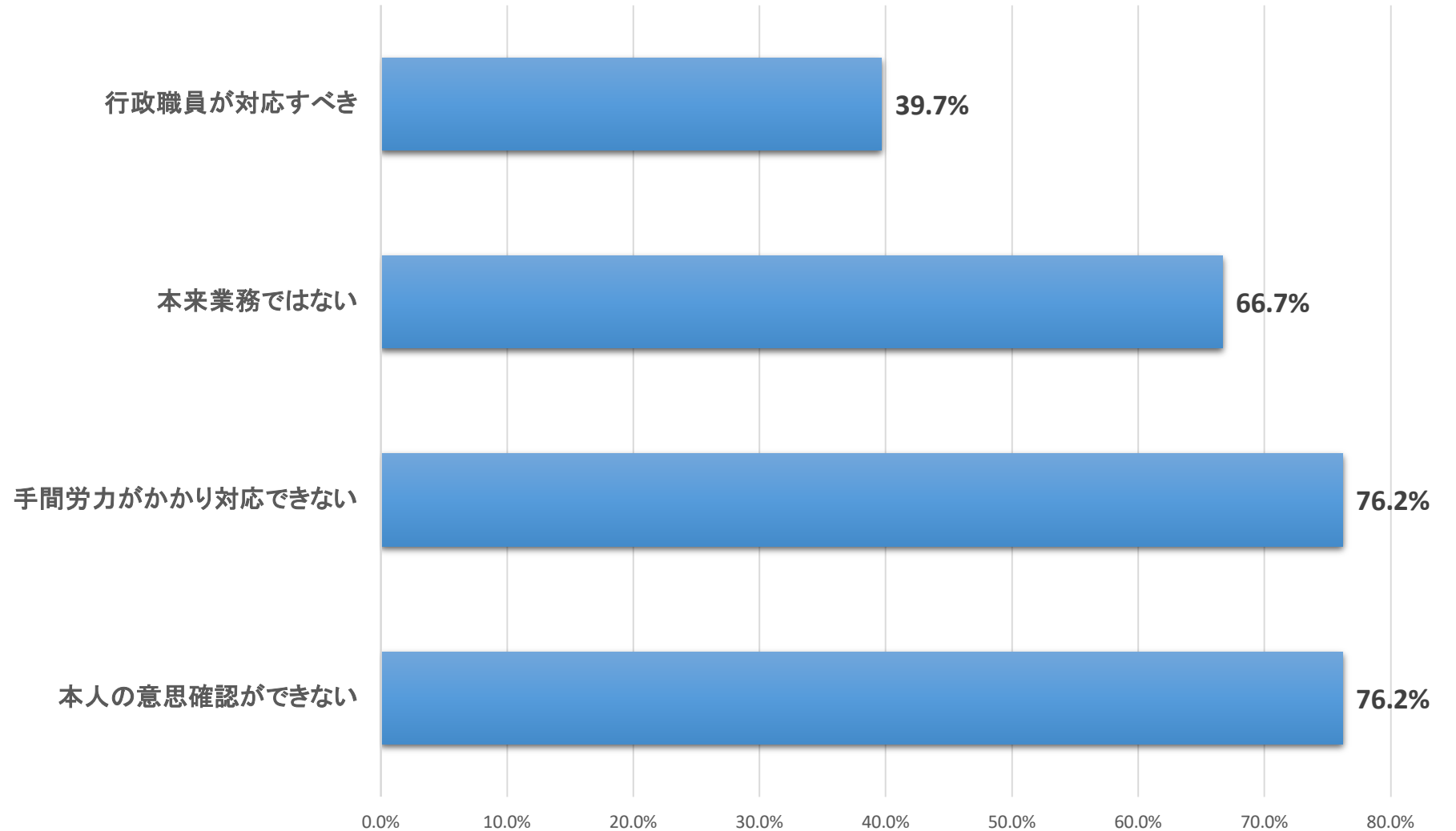
利用者・入所者のマイナカード申請(代理)について



N=63

「本人の意思確認ができない」76.2%、「手間・労力がかかり対応できない」が76.2%、「本来業務ではない」が66.7%、

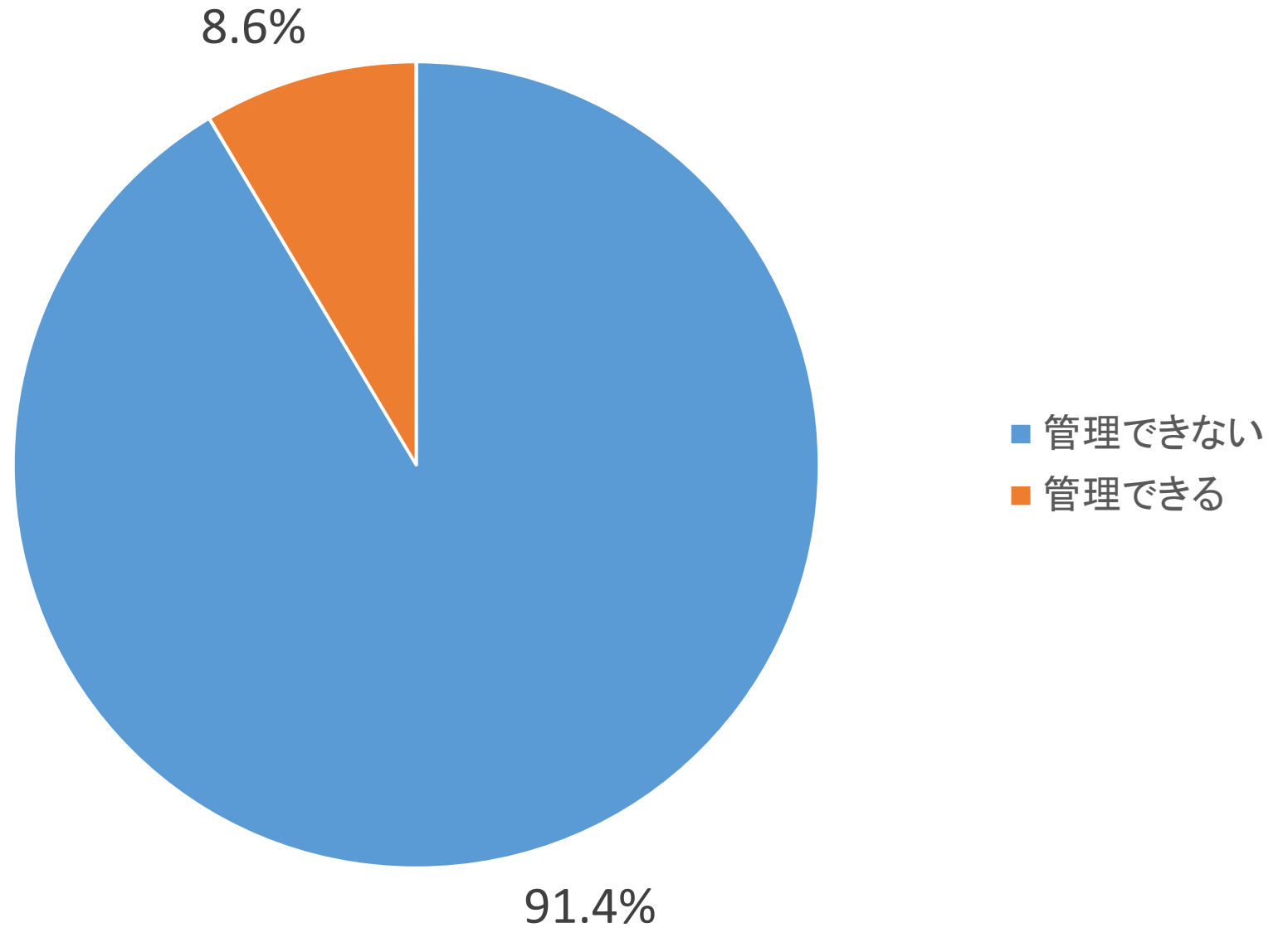
利用者・入  
所者のカー  
ド申請（代  
理）が対応  
できない理  
由



N=70

「管理できない」が91.4%、「管理できる」8.6%

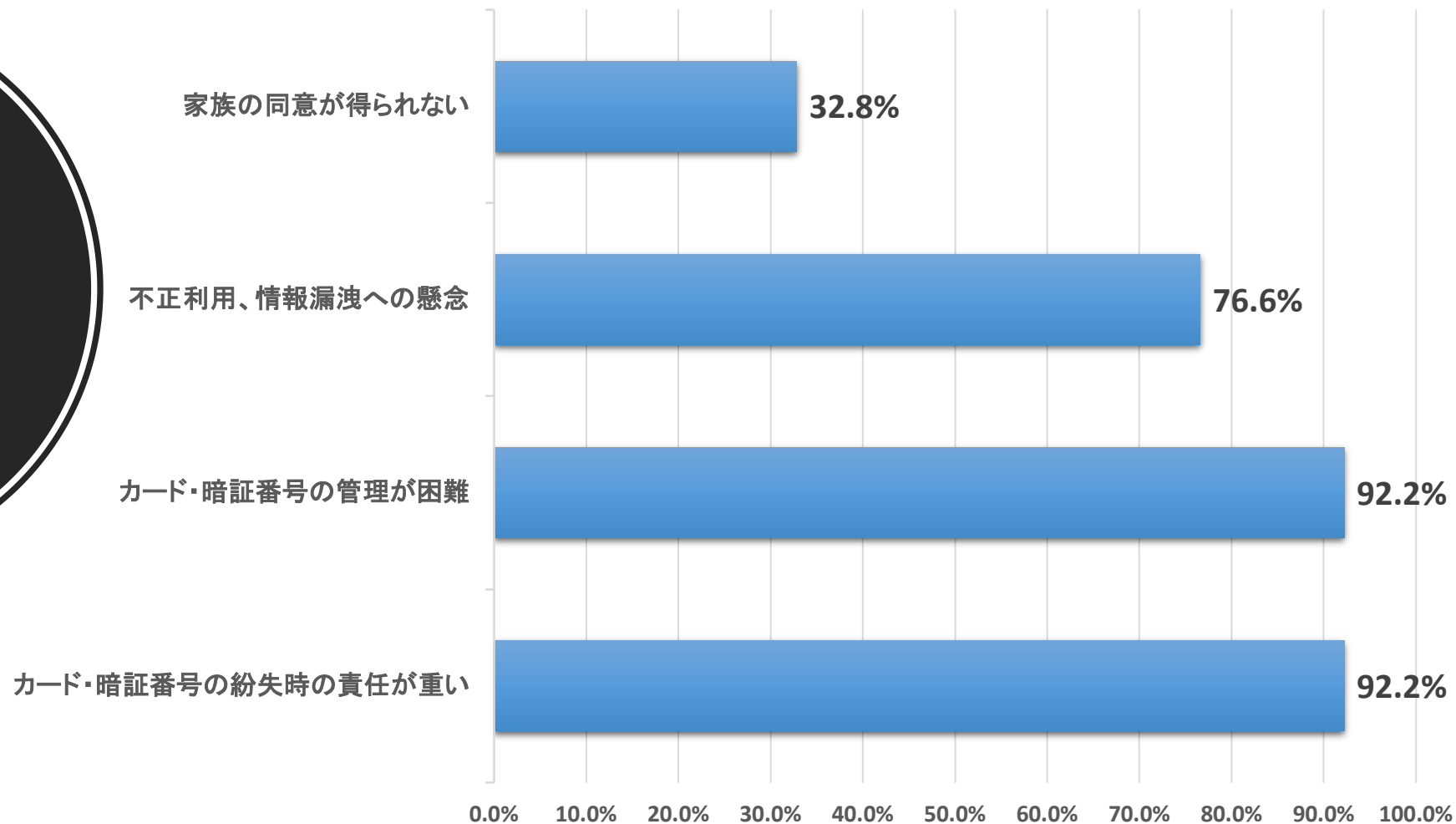
利用者・入所者のマイナカードの管理（暗証番号含む）について



N=64  
(複数回答)

「カード・暗証番号の紛失時の責任が重い」が92.2%、「カード・暗証番号の管理が困難」が92.2%、「不正利用、情報漏洩への懸念」が76.6%、「家族の同意が得られない」が32.8%

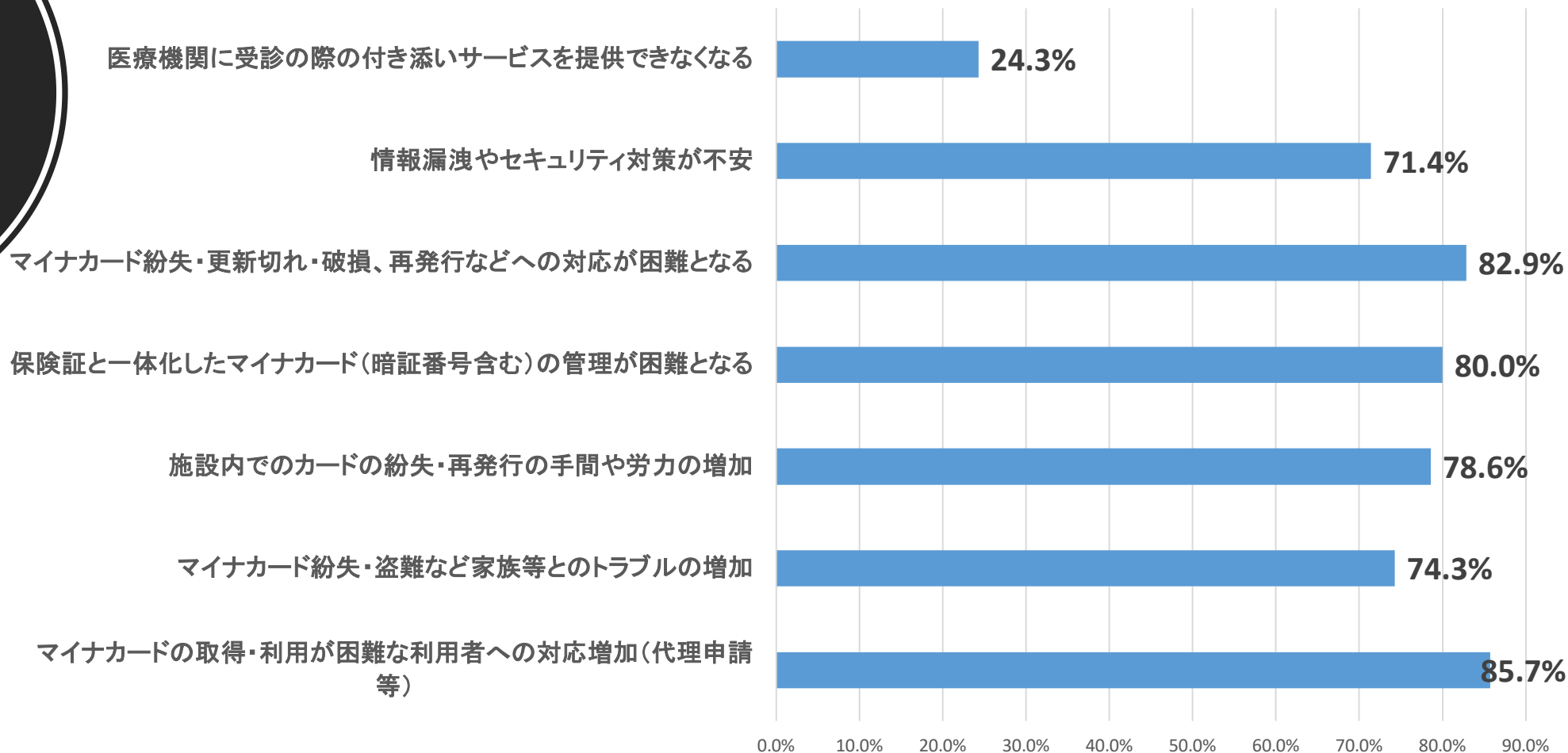
利用者・入所者のマイナカード管理ができない理由



# 保険証廃止 による施設 への影響・ 危惧

N=70(複数  
回答)

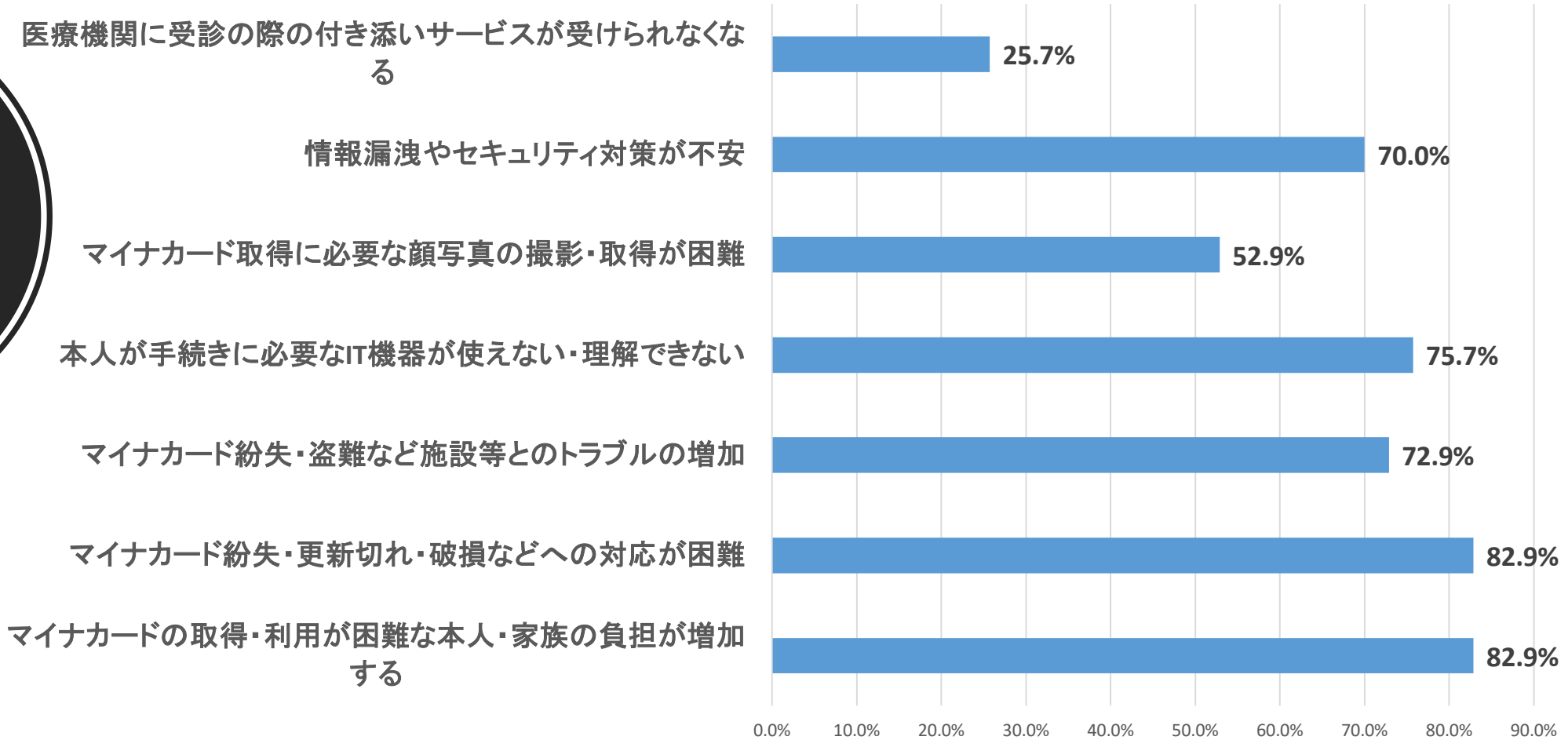
「マイナカードの取得・利用が困難な利用者への対応増加(代理申請等)」が85.7%、「マイナカード紛失・更新切れ・破損、再発行などへの対応が困難となる」が82.9%、「保険証と一体化したマイナカード(暗証番号含む)の管理が困難となる」が80.0%



保険証廃止  
による利用者・家族への影響

N=70(複数回答)

「マイナカードの取得・利用が困難な本人・家族の負担が増加する」が82.9%  
「マイナカード紛失・更新切れ・破損などへの対応が困難」が82.9%  
「本人が手続きに必要なIT機器が使えない・理解できない」が75.7%



# 特 徴

- ▽約88.6%の施設で利用者・入所者の健康保険証を管理している。
- ▽約90.0%の施設が利用者・入所者のマイナカードの申請代理に対応できない。
- ▽91.4%の施設が利用者・入所者のマイナカードを管理できない。
- ▽健康保険証が廃止されると利用者・入所者の医療へのアクセスが困難を抱える。
- ▽利用者・入所者のマイナカード管理に伴い介護・高齢者福祉関係者に多大な負担となる。
- ▽マイナカード管理に伴い利用者・家族と施設側との無用な混乱・トラブルを招きかねない

## 自由意見

特別養護老人ホーム	03.岩手県	カードの利便性を考えると一元管理できるのは良い事だが保険証の終了までの期間が尚早
特別養護老人ホーム	03.岩手県	全面的に廃止ではなく、必要な人には保険証を発行して欲しいです。
老人保健施設	03.岩手県	マイナカードは施設では取り扱えない。職員の負担になる。選択式で保険証のみ発行できるようにすれば施設の対応も楽。(結局今のままで、ということ)
老人保健施設	03.岩手県	マイナカードを施設で管理の同意が得られるか不明である。暗証番号の管理ができるか？
特別養護老人ホーム	03.岩手県	デジタル、デジタルと言って何でも一本化すれば良いとは思われない。高齢者はマイナンバーカードの取得も難しい方もいる。施設で代理申請し取得申請を行っているが、今後の運用については、紛失や個人情報の漏洩等不安材料が多すぎる。本人の便利さより行政の利便性を優先した形ではないかと思われる。段階を踏みながら切り替えて行く方法はないのか、施設での運用方法の例示等提示して頂ければと思います。
老人保健施設	03.岩手県	資格書がたくさんあるとめんどろなので、マイナカードに統一してほしい。管理責任は本人や家族であることは当たり前なのではないか。施設に責任を押し付けることはおかしい。
特別養護老人ホーム	03.岩手県	カードは預かれないため、期限無し紙の証明書で対応できるようにしてもらいたいです。
特別養護老人ホーム	03.岩手県	認知機能低下による判断能力が乏しい方の意思確認が不可能
特別養護老人ホーム	03.岩手県	御家族ご本人からの申請以来が現時点で少ないので個別に対応しているが依頼が増えた場合、手続きや写真撮影時等の対応は難しいと思われる。施設での申請方式が一元化される等、手続きの簡略化が出来ればよいと思われる。管理が現実的ではない。暗証番号の入力が必須になるのであれば無理。
老人保健施設	03.岩手県	病院受診など多数の職員が関わるため、マイナカードの管理が煩雑になることが心配。
特別養護老人ホーム	03.岩手県	介護保険法が定期的に改正され、それに合わせて対応しているので、今後も入居者様が困らないように対応していきたいと思います。
特別養護老人ホーム	03.岩手県	行政が写真なしで、作成して届けてくれるのであれば良いと思います。
特別養護老人ホーム	03.岩手県	マイナンバー導入時、管理が難しいことから施設では預からないことと決めた。情報対策等困難な状況は変わっておらず職員が足りないのに更に業務が増えることや責任を負担に感じ離職を促すようなことになりかねない。
老人保健施設	03.岩手県	健康保険証、介護保険証廃止の動きには賛成だが、施設がマイナカードの申請、管理を行うことは困難。現在の保険証も原則家族管理としている。施設でマイナカード(暗証番号含む)を管理するためには人員も含めた厳重な管理体制を確立する必要がある。
老人保健施設	03.岩手県	マイナカードを管理するシステムの導入やその管理業務の増加が予測されます。
老人保健施設	03.岩手県	現在、マイナンバーカードについてご家族問い合わせ増えてきている。申請しても、本人が役所に行かなければ、交付されない。車椅子の方は施設入所中でも役所に行かなければならず、家族負担や家族がいない方は施設の負担が多くなる。交付についても、役所職員によって対応が違う。